

新型コロナウイルス感染症から身を守るために
看護学部から学生への応援メッセージ NO7

皆さんへの応援メッセージもしばらくお休みしておりました間に、すでに季節が移り、本格的な冬が到来いたしました。皆さんは後期の一部対面授業とオンラインによる授業のリズムにも慣れてこられたでしょうか。後期には、制限はあるものの、医大病院や外部の医療施設、地域の保健機関などで臨地実習に参加することができた学年もありました。今年度は、いつもならごく当たり前に行っていた臨地実習が、コロナ禍のもとでは、実施自体が危ぶまれる、そんな非日常に直面しました。対面での授業や臨地実習の開催にあたっては、大学や実習施設側の準備だけではなく、主体である学生の皆さんの感染予防への協力が欠かせません。ご自分の健康と患者さんや利用者さんの健康を守るために、これからも引き続き、感染対策に最大限努めていただくよう強くお願いいたします。

さて、冬にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大が予想はされてはおりましたが、実際に、全国的にも急激な感染者の増加となっています。愛知県も例外ではありません。今後、感染拡大の状況に合わせて、大学の活動指針も大きく変更になる可能性もあります。活動方針はほぼ毎週見直しが行われておりますので、大学の活動方針の内容を注意深く確認してください。

《学生の皆さんにこれから特に心掛けてほしいこと》

1. 感染予防の基本的な対策を確実に

私たちの「新型コロナウイルス感染症」への意識も緊急事態宣言が発出されていた頃とは随分変化してきているように思います。連日、ニュースで報道される新型コロナウイルス感染症陽性者のすさまじい増加を耳にしても、人の移動はなかなか減っていない気がします。「手洗い」「マスクの着用」「換気」、私たちができる基本的な対策を確実に続けていきましょう。市中感染のリスクが高まると、公共交通機関の利用にも不安を感じますね。大学へ到着されたときや帰宅後は、念入りな手洗い・消毒を励行してください。そのためにも時間に余裕をもって行動してください。

2. 体調の管理を確実に “毎日の体温測定と入力”を週末も忘れずに

気温が下がり、風邪症状など学生の皆さんの体調が少し不安定になっているようです。毎朝の体温測定と入力はこれからも必ず実施してください。残念ながら、未だに100%の学生さんが体温測定と入力を行っているわけではありません。14日間の継続した入力がなければ大学構内に入講することができないことは今も変わらないルールです。とりわけ臨地実習においては、1日でも入力がない場合は、実習が継続できなくなります。今一度、気持ちを引き締めて習慣化してください。

3. 「感染した」「濃厚接触者となった」場合の連絡は確実に

新型コロナ感染の市中感染のリスクが高くなっています。今や、「どこで感染してもおかしくない」「自分も感染させてしまうかもしれない」と思って行動しましょう。現在、愛知県では、「発熱し、コロナ感染かもしれない…」と思った時、まずはかかりつけの医師に相談して指示を仰ぐことになりました。（かかりつけ医がいない場合は居住地の管轄の保健所、名古屋市は保健センターに連絡）**感染の可能性があり PCR 検査を受けた時、あるいはご家族が感染し、濃厚接触者になった場合**、できる限り速やかに、看護学部学生支援課へ連絡を入れてください。自宅待機となった場合は外出を避け、自宅待機中に症状が出現した場合は、保健所に相談していただき、大学にもご連絡ください。1人暮らしなどで、自宅待機になって生活に困る場合も相談に乗らせていただきます。

「新型コロナウイルス感染症」に感染し療養が必要となった場合および濃厚接触者として保健所に自宅待機を指示された場合は、「公欠扱い」とします。オンライン授業はご自宅で受講していただき、対面授業については、大学へ登校できるようになりましたら、学生の皆さんからも科目責任者に補習の方法を確認してください。教学課からも科目責任者に連絡を行います。

4. 感染拡大が懸念される地域への移動については柔軟な計画で

現在、感染拡大が続く地域ではGOTO トラベル・キャンペーンの一時解除が行われています。冬休み期間などに、旅行や帰省を計画しておられる学生の皆さんも多いかと思いますが、移動先の感染の流行状況を把握し、時には柔軟に計画を変更できるようにしておきましょう。